

テーマを分解する マインドマッピング マニュアル

抽象的なテーマから関連するキーワードを次々と挙げて具体化していく。

用意するもの：大きな白い紙（ホワイトボードも可）、ペン（何色か）

※ テンプレートも用意しているが、白い紙にフリーハンドで自由に書くことを薦めます。

方法

- 1 中心となるテーマを決める。

用紙を横長にして、中心にテーマを単語や短い文で書く。

- 2 抽象的なテーマを具体化し、さらに細分化する。

テーマの周囲にテーマを具体化したアイデアを配置する。アイデアはテーマから放射状に線で広がるようにする。そのアイデアをさらに具体的に分岐させていく。（イラストも使うとよい。）

- 3 アイデアのまとまりごとにカラーペンで色分けする。

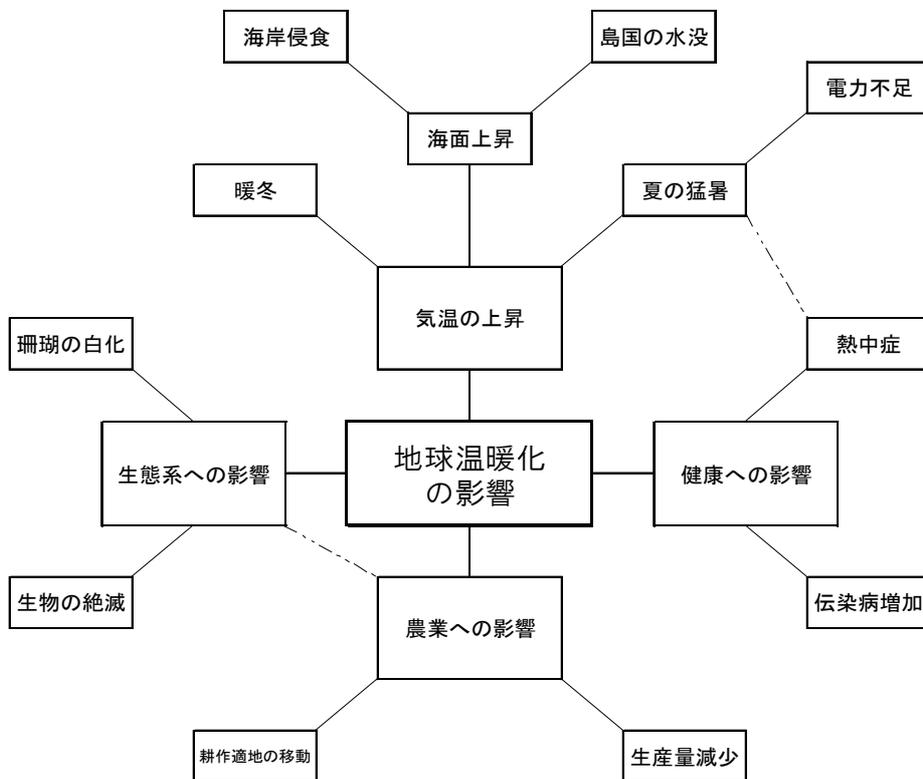
- 4 アイデアの関係性を捉える。

アイデアの関連を示すために直線や曲線で結ぶ。アイデアを結ぶ線の太さを階層によって変えていく。

※ ブレインストーミングを行うように、テーマに関するキーワードを出し切るまで続けるのがよい。

※ 抽象から具体への流れを意識し、アイデアを追加しながら細分化する。

例 地球温暖化の影響



テーマを分解する マップ化 マニュアル

アイデアを書き出したカードや付箋を並べ替えて情報を整理し、物事の全体像やその関係性を捉えやすく手法。

用意するもの：模造紙などの大きな白い紙（ホワイトボードも可）、ペン、付箋

方法

1 アイディアを次々と出していく。

アイデアを付箋に書き出し、模造紙に貼っていく。

ただし、必ず1つの付箋にアイデアは1つだけとする。

2 付箋をグループ化する。

付箋同士の共通点に注目し、共通点のある付箋を近くにまとめ、グループ化する。

3 見出しをつける。

グループは線で囲み、グループごとに共通点を簡潔な言葉でまとめる。

4 グループ間の関係を整理する。

複数のグループをさらにまとめ、見出しをつけていく。

グループ同士に関係性があれば、矢印などわかりやすい記号でつなぎ、補足のコメントを加える。

5 マップにタイトルをつける。

最後に、出来上がったマップ全体に対してタイトルをつける。

テーマを分解する ロジックツリー マニュアル

ある物事について、ツリー状に分解し、構成要素をすべて洗い出す。

用意するもの：大きな白い紙（ホワイトボードも可）、ペン

方法

- 1 一番左にテーマを書く。
- 2 テーマの右側に、その問題に対する要素を書き出していく。
- 3 さらにその右側に、2の要素をさらに分解した要素を書き出していく。（以下、同じ）

※ 2～3について、各階層を構成する要素は同じレベルとなるようにする。

ロジックツリーは、問題の原因分析や解決策、あるいはある事象の起こりうるパターンを考察するのにも使えます。つまり、このあとの「仮説形成」のツールとしても役立つというわけです。

各階層は、MECEである、つまり相互に（Mutually）重複せず（Exclusive）全体として（and Collectively）漏れがない（Exhaustive）ことが求められます。

例 ロックミュージックをサブジャンルに分解する（一部）

